第5学年1組 総合的な学習の時間 学習指導案

指導者 小田 泰督

1 単元 みんなで一緒にSDG's その②

2 指導の立場

<子どもの実態から>

子どもは、第4学年「みんなで一緒にSDG's その①」において、SDG's における「つくる責任、つかう責任」の観点から、探究を進めてきた。そこでは、「ごみを減らすためにできることをしたい」という思いから課題を立て、自分たちなりの答えを探っていった。活動の度に「ごみを減らす」という視点から自らの活動を振り返り、評価と改善をくり返しながら次の活動へとつなげていくことで、子どもはダンボールコンポストを使った生ごみの堆肥化という形で、思いを実現させた。このような子どもが、課題をさらに発展的に捉え、探究していくことで思いや願いの実現に向けて考えを深めていくことのよさやSDG's とのつながりに気付き、自らの生活や行動に生かしていくことができるだろう。そこで、単元を構想するにあたっては、次のような題材を設定する。

<題材について>

本題材は、自分たちの身近な食生活からでるごみをどう有効活用していくのかを課題として設定することで、生ごみを有効活用することのよさや、SDG'sとのつながりに気付くことができる題材となっている。ここでは、自分たちで課題を立て、その思いや願いの実現に向けてできることを考え、実行していくことが大切である。そこで、SDG'sにつながる実践とそのよさを地域へ発信していく活動を設定する。子どもは、「どんなことを」「誰に」「どのように」「いつ」伝えるのかなどの視点を大切にしながら計画し実践していく中で、思いや願いの実現に向けて考えを深めていくことのよさやSDG'sとのつながりに気付き、今後の身近な人や社会との関わりの中で、自分たちにできることを考え、行動しようとしていくだろう。そのような学びを実現するために、指導にあたっては、次の点に留意する。

<指導上の留意点>

- 単元の初めには、SDG'sにおける「つくる責任、つかう責任」の観点から生ごみや堆肥を有効活用する方法をさぐる場を設定する。そうすることで、子ども自身が課題解決に向けての思いや願いをもち探究的な学びの見通しをもつことができるようにする。
- 単元を通して、自分たちの計画や取組みを評価したり、見直したりする場を設定する。そうすることで、思いや願いの実現に向けて自らの探究を深めていくことができるようにする。
- 単元の終わりには、探究のプロセスを評価し探究活動全体を振り返る場を設定する。そうすることで、探究での学びを今後の身近な人や社会との関わりの中で生かしていくことができるようにする。

3 目標

生ごみの有効活用を目指した活動を通して、そのよさやSDG's とのつながりについて気付き、身近な地域に表現する方法を考えるとともに自らの生活や行動に生かしていくことができるようにする。

4 指導計画(総時数30時間)

次	学習活動・内容	単元の指導上の留意点
次 一 ④ 二 ② 本 時 2 0 / 2	学習活動・内容 ○ SDG'sについて考え、交流する。 ・地域・保護者にSDG'sの取組を広げたいという思いや願い ○ 自分たちにできることを考える。 ・堆肥や生ごみの有効活用・コンポストの取組みの継続 ○ 生ごみを有効活用する取組について計画し実践する。 ・自分たちの思いや願い・取組の方法の実現性 ・計画・実践の振り返り ● SDG'sの活動を広げるための方法を話合い、実践する。	単元の指導上の留意点 「活動の初めにどんなことを何のために行うのかを確認する場を設定する。そうすることで、自分たちの思いや願いを基に、探究の目標や見通しを明確にもつことができるようにする。 「どのように」「いつ」行うのかなど、視点を自分たちで決めて計画を立てさせる。そうすることで、その視点を基に振り返ったり、次の計画の方向性を確かめたりすることができるようにする。
4 三 ②	 ・地域とのつながり ○ 自分たちの探究を振り返り、今後身近な人や社会との関わりの中で自分たちにできることを考える。 ・自分たちにもできるSDG's ・自分たちで活動を計画・実践していくことのよさ 	○ 探究全体を子どもたちが振り返る場を設定する。そうすることで、探究活動を通しての成果や課題を見つめ次の探究活動に向けて学びを深めることができるようにする。

5 評価規準					
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
①SDG'sや生ごみを有効	①SDG′sや生ごみを有	① S D G's や生ごみを有効活			
活用する目的や意義に気	効活用する目的や意義つ	用する目的や意義を見いだ			
付いている。	いて考え、それに基づい	し積極的に活動に取り組も			
②生ごみを有効活用する取	て計画を立てている。	うとしている。			
組やSDG'sの考えを広	②生ごみを有効活用するた	②探究の際に、異なる意見や考			
げる取組を計画的に実施	めの取組みを計画に基づ	えを尊重しつつ、前向きに話			
することができている。	いて実践している。	し合おうとしている。			
③SDG'sに取り組むこと	③SDG'sに向けた身近	③自分たちの話合いや実践か			
のよさへの気付きは、試行	な取組について他者に自	ら、今後身近な人や社会との			
錯誤を繰り返し、自らが探	分の考えが伝わるように	関わりの中で、自分たちにで			
究的に学習を進めてきた	目的に応じて表現方法を	きることを考え、行動しよう			
ことの成果であることに	工夫している。	としている。			
気付いている。					

6 本時案 -第二次·20時分-

- (1) 主眼 これまでの実践を基にSDG'sの考えを地域に広げていく方法を話し合う活動を通して、活動の意義や目的について考え、より具体的な計画を立てることができる。
- (2) 準備 タブレット、ワークシート
- (3) 学習の展開

学習活動・内容 予想される子どもの反応 指導上の留意点 分 1 これまでの実践についで振り返る確認する・生ごみを活用した取組 ・ 本を育てて押し花の葉を配ったより				
・生ごみを活用した取組 めることで玉ねぎの皮を 活用で来たよ 名。そうすることで、ゴールを見通した話合いを配ったより 私たちの取組みをもっと広げていくためにはどうしたらいいかな を確認する場を設定する。そうすることができるようにする。と広げていくためにはどっしたらいいかな できな話動をしていくのかを話し合う・伝えたい思いや願い にで配ったらどうかな イ 自分たちで調べたSD G'sの取組みをレポートにまとめて一緒に配ったらいるんな取組みが紹介できると思うより、火曜マルシェについて調べないといけないね エ 何を伝えたいのかをはっきりさせないといけないね エ 何を伝えたいのかを もたせることで、計画の実現に向けてボイントを押さえた話合いのできるようにする。そうすること で、話合いの質や決まった ことを振り返り、今後の探究の方向性について交流する。 そうすること で、話合いの視点を価値 付けたり、今後の活動の見通し がのかな ウ 次の時間の見通しがも ことができるようにす ことができるようにす	学習活動・内容	予想される子どもの反応	指導上の留意点	分
・生ごみを活用した取組 活用で来たよ を確認する場を設定する。そうすることで、ゴールを見通した話合いを配ったより 私たちの取組みをもっと広げていくためにはどうしたらいいかな る。そうすることで、ゴールを見通した話合いを行うことができるようにする。 2 SDG'sの考えを他者へ広げていくためにどんな活動をしていくのかを話し合う・伝えたい思いや願い・地域とのつながり・話合いの視点 で育てた花の苗をマルシーで活動の目的を即確にし、話合いに生かしたり、類り返りの視点としたり、類り返りの視点としたり、あると思うより、大曜マルシェについて調べないといけないねまのかなどの視点をもたせることで、計画の実現に向けてボイントを押さえた話合いがあるようにする。 ・「どんなことを」「誰に」「どのように」「いつ」伝えるのかなどの視点をもたせることで、計画の実現に向けてボイントを押さえた話合いが表えらたする。とうすることを扱り返る場を設定する。そうすることを扱り返る場を設定する。そうすることで、話合いの複点を価値付けたり、今後の活動の見通し・話合いの視点 3 話し合いを基に、学習を扱り返り、今後の探究の方向性について交流する。 イ 火曜マルシェのお客さんにはどんな人たちがいるのかなり、今後の活動の見通し・話合いの視点 ・話合いの視点を価値付けたり、今後の活動の見通しをもったりすることができるようにすることができるようにす。ことができるようにす。ことができるようにす。ことができるようにす。ことができるようにする。ことができるようにすることができるようにする。ことができるようにすることができるようにすることができることができるようにすることができることができることができることができることができることができることができることができることができることができることができないまする。ことができる	1 これまでの実践につい	ア 草木染めでタオルを染	・ 次の計画を立てるうえ	
・計画の見通し イ 花を育てて押し花の栞を配ったよりを配ったよりを配ったよりを配ったよりを配ったよりにする。 る。そうすることで、ゴールを見通した話合いを行うことができるようにする。 2 SDG'sの考えを他者へ広げていくためにどれな活動をしていくのかを話し合う・伝えたい思いや願い・地域とのつながり・話合いの視点 ア 染めたハンカチや堆肥・で育てた花の苗をマルシェで配ったらどうかなイ自分たちで調べたSDG'sの取組みをレポートにまとめて一緒に配ったらいろんな取組みが紹介できると思うより、実現に向けている。 ・「どんなことを」「誰に」「どのように」「いつ」伝えるのかなどの視点をもったりまりにする。 ・ 所を伝えたいのかをはっきりさせないといけないねエー何を伝えたいのかをはっきりさせないといけないねといることで、計画の実現に向けてポイントを押さえた話合いができるようにする。 ・ 話合いの質や決まったことを振り返り場を設定する。そうすることで、話合いの視点を価値付けたり、今後の活動の見通し・話合いの視点 3 話し合いを基に、学習を振り返り、今後の探究の方向性について交流する・今後の活動の見通し・話合いの視点 イ 火曜マルシェのお客さんにはどんな人たちがいるのかなり、今後の活動の見通しをもったりすることができるようにす	て振り返る確認する	めることで玉ねぎの皮を	で何を話し合うべきか	
を配ったより、私たちの取組みをもっと広げていくためにはどうしたらいいかな を行うことができるようにする。 2 SDG'sの考えを他者へ広げていくためにどんな活動をしていくのかを話し合う・伝えたい思いや願いと地域とのつながり・話合いの視点 ア 染めたハンカチや堆肥・ついて問う。そうすることで活動の目的を明確にし、話合いに生かしたり、振り返りの視点としたまとめて一緒に配ったらどうかないといけないねまとめて一緒に配ったらいろんな取組みが紹介できると思うより、火曜マルシェについて調べないといけないねまりませないといけないねまりませないといけないないなどの視点をもたせることで、計画の実現に向けてポイントを押さえた話合いができるようにする。 ・ 「どんなことを」「誰に」「どのように」「いつ」伝えるのかなどの視点をもたせることで、計画の実現に向けてポイントを押さえた話合いができるようにする。 3 話し合いを基に、学習を振り返り、今後の探究の方向性について交流する・今後の活動の見通し・話合いの視点を価値へけたり、今後の活動の見通しをもったりする方の状況を表して、またができるようにすり、今後の活動の見通しをもったりする方の状況を表して、またができるようにする。ことができるようにすることができるようにする。ことができるようにすることができるようなものできるようにすることができるよりに対していることができるようにすることができるようにすることができるように対していることができるように対しまする。ことができるようにすることができるようないのできる。ことができるようないのできる。ことができるようないのできる。ことができるよりに対していることができるようないのできるように対していることができるようにすることができるようないることができるようないのように対していることができるようにすることができるようないのできるようにすることができるようないのできるようないのできるようないのできる。ことができるようないのできるようないのできるようないのできる。ことができるようないのできる。ことができるようないのできる。ことができるようないのできる。ことができるようないのできるようないのできるようないのできるようないのできるようないのできるようないのできる。ことができるようないのできるようないのできるようないのできる。ことができるようないのできるようないのできる。ことができるようないのできるようないのできるようないのできるようないのできる。ことができるようないのできる。ことができるようないのできる。ことができるようないのできるようないのできる。ことができるようないのできる。ことはいるできるようないのできるようないのできる。ことができるようないのできる。ことができる。ことができる。ことができる。ことがではいいのできる。ことがで	・生ごみを活用した取組	活用で来たよ	を確認する場を設定す	
ウ 私たちの取組みをもっと広げていくためにはどうしたらいいかな を行うことができるようにする。 2 SDG'sの考えを他者へ広げていくためにどんな活動をしていくのかを話し合う・伝えたい思いや願い・地域とのつながり・地域とのつながり・話合いの視点 ア 染めたハンカチや堆肥でついてあらどうかない場別のでは点としたりに変しているのがなどの視点としたりなりの視点としたりがありの視点とした。 とで活動の目的を明確にし、話合いに生かしたり、振り返りの視点としたりすることができると思うより、大曜マルシェについて調べないといけないねまかる。 ・「どんなことを」「誰に」「どのように」「いつ」伝えるのかなどの視点をもたせることで、計画の実現に向けてポイントを押さえた話合いができるようにする。 3 話し合いを基に、学習を振り返り、今後の探究の方向性について交流するの方向性について交流するの方向性について交流するの方向性について交流するの方向性について交流するの方向性について交流するのかなり方向性について交流するのかなどの視点を価値はである。 ・ 話合いの観点を価値はでする。そうすることで、話合いの視点を価値はでする。そうすることで、話合いの視点を価値はである。とができるようにする。とができるようにする。とができるようにする。ことができるようにすることができるようにする。	・計画の見通し	イ 花を育てて押し花の栞	る。そうすることで、ゴ	
と広げていくためにはどうしたらいいかな うにする。 2 SDG'sの考えを他者へ広げていくためにどのな活動をしていくのかを話し合う ア 染めたハンカチや堆肥で育てた花の苗をマルシェで配ったらどうかな。 とで活動の目的を明確にし、話合いに生かしたのように、動の収点とした。 といるのながりできると思うより、機り返りの視点とした。 いろんな取組みが紹介できると思うより、人曜マルシェについて調べないといけないねエのを伝えたいのかをはっきりさせないといけないねエのを伝えたいのかをはっきりさせないといけないねエのを伝えたいのかをはっきりさせないといけないね。 ことを振り返り、今後の探究の方向性について交流する。 イ 火曜マルシェのお客さんにはどんな人たちがいるのかなり、一般の活動の見通し、にはどんな人たちがいるのかなり、今後の活動の見通し、ことができるようにする。 ことができるようにする。 ことができるようにする。 ことができるようにする。 ことができるようにする。 ことができるようにする。 ことができるようにする。 ことができるようにす		を配ったよ	ールを見通した話合い	
2 SDG'sの考えを他者へ広げていくためにどれな活動をしていくのかを話し合う ア 染めたハンカチや堆肥で育てた花の苗をマルシャで育てた花の苗をマルシャで育てた花の苗をマルシャで育立とで活動の目的を明確にした話合いに生かしたり、振り返りの視点としたり、振り返りの視点としたりすることができるとした。 いろんな取組みが紹介できると思うよりた曜マルシェについて調べないといけないね。工何を伝えたいのかをはっきりさせないといけないね。 「どのように」「いつ」伝えるのかなどの視点をもたせることで、計画のいね。」 3 話し合いを基に、学習を振り返り、今後の探究の方向性について交流する。 ア 次の時間は、自分たちにもできる取組をレポートにまとめていくよるのかなどの視点をもたせることで、計画の実現に向けてポイントを押さえた話合いができるようにする。 ・ 話合いの質や決まったことを振り返る場を設定する。そうすることで、話合いの視点を価値付けたり、今後の活動の見通しい話合いの視点を価値付けたり、今後の活動の見通しをもったりすることができるようにする。ことができるようにすることができるようにすることができるようにすることができるようにすることができるようにする。ことができるようにすることができるようにすることができるようにすることができるようにすることができるようにすることができるようにすることができるようにすることができるようにすることができるようにすることができるようにすることができるようにすることができるようにすることでですることができるようにすることができるようにすることができるようにすることができるようにすることで言えないます。 ことができるようにすることができるようにすることができるようにすることでですることができるようにすることができるようにすることで言えないます。 ことができるようにすることができるようにすることで言えないます。 ことができるようにすることができるようにすることができるようにすることができるようにすることができるようにすることができるようにすることができるようにすることができるようにすることができるようにすることができるようにすることができるようにすることができるようにすることができることでは、 1 にはどんな人たちがいますないます。 ことができるようにすることで言えないます。 ことができるようにすることで言えないます。 ことができるようにすることで言えないます。 ことができるように対していますないます。 ことができるように対していますないますないますないますないます。 ことができるようないますないますないますないますないますないますないますないますないますないます		ウ 私たちの取組みをもっ	を行うことができるよ	
2 SDG'sの考えを他者へ広げていくためにどれな活動をしていくのかを話し合う ア染めたハンカチや堆肥で育てた花の菌をマルシェで配ったらどうかないた SDのと気えたい思いや願い・地域とのつながりにまとめて一緒に配ったらいろんな取組みが紹介できると思うより、大曜マルシェについて調べないといけないねエ何を伝えたいのかをはっきりさせないといけないねエ何を伝えたいのかをはっきりさせないといけないねエ何を伝えたいのかをはっきりさせないといけないないおおきないのかなどの視点をもたせることで、計画の実現に向けてポイントを押さえた話合いができるようにする。 ・「どんなことを」「誰に」「どのように」「いつ」伝えるのかなどの視点をもたせることで、計画の実現に向けてポイントを押さえた話合いがきるようにする。 3 話し合いを基に、学習を振り返り、今後の探究の方向性について交流する。・今後の活動の見通し・話合いの視点 ケ、火曜マルシェのお客さんにはどんな人たちがいるのかなり、今後の活動の見通しをもったりすることができるようにすりないない。ことができるようにする。ことができるようにすることでで記述ができるようにす。ことができるようにす。ことができるようにす。ことができるようにす。ことができるようにす。ことができるようにすることで、話合いの視点を描述している。ことができるようにすることで表現している。ことができるようにすることで表現している。ことができるようにすることで表現している。ことができるようにすることができるようにすることで表現している。ことができるようにすることで表現している。ことができるようにすることで表現している。ことができるようにすることで表現している。ことができるようにすることで表現している。ことができるようにすることで表現している。ことができるようにすることで表現している。ことができるよりで表現している。ことができるよりでは、ことができるように対している。ことができるように対している。ことができるように対している。ことができるように対している。ことができるように対している。ことができるよりではないる。ことができるよりではないる。ことができることで表現している。ことができないる。ことがではないる。ことができる。ことができないる。ことができないることができないる。ことができないる。ことができないる。ことができないる。ことができないる。ことがではないる。ことがではないる。ことができないる。こと		と広げていくためにはど	うにする。	
者へ広げていくためにどんな活動をしていくのかを話し合う で育てた花の苗をマルシェで配ったらどうかなイ自分たちで調べたSDG'sの取組みをレポートにまとめて一緒に配ったらいるんな取組みが紹介できると思うよウ、火曜マルシェについて調べないといけないねエー何を伝えたいのかをはっきりさせないといけないねエー何を伝えたいのかをはっきりさせないといけないね カー できるようにする。 ・「どんなことを」「誰に」「どのように」「いつ」伝えるのかなどの視点をもたせることで、計画の実現に向けてポイントを押さえた話合いができるようにする。 3 話し合いを基に、学習を振り返り、今後の探究の方向性について交流する。・今後の活動の見通し・話合いの視点 ア 次の時間は、自分たちにまとめていくよイ、火曜マルシェのお客さんにはどんな人たちがいるのかなり、今後の活動の見通しがもっかの時間の見通しがもことができるようにする。ことができるようにす。		うしたらいいかな		5
んな活動をしていくのかを話し合う エで配ったらどうかな 自分たちで調べたSD G'sの取組みをレポート・地域とのつながり にまとめて一緒に配ったらいろんな取組みが紹介できると思うよう 火曜マルシェについて調べないといけないねエー何を伝えたいのかをはっきりさせないといけないねエー何を伝えたいのかをはっきりさせないといけないねエー何を伝えたいのかをはっきりさせないといけないねエーグを押さえた話合いができるようにする。 ・「どんなことを」「誰に」「どのように」「いつ」伝えるのかなどの視点をもたせることで、計画の実現に向けてポイントを押さえた話合いができるようにする。 3 話し合いを基に、学習を振り返り、今後の探究の方向性について交流する・今後の活動の見通し・話合いの視点 イ 火曜マルシェのお客さんにはどんな人たちがいるのかなり次の時間の見通しがもことができるようにす。 ・ 活合いの視点を価値付けたり、今後の活動の見通し・話合いの視点 人にはどんな人たちがいるのかなり次の時間の見通しがもことができるようにす。ことができるようにす。	2 SDG'sの考えを他	ア 染めたハンカチや堆肥	伝えたい思いや願いに	
を話し合う イ 自分たちで調べたSD G'sの取組みをレポート にまとめて一緒に配った らいろんな取組みが紹介できると思うより 火曜マルシェについて調べないといけないねエ 何を伝えたいのかをはっきりさせないといけないね 実現に向けてポイントを押さえた話合いができるようにする。 ・「どんなことを」「誰に」「どのように」「いつ」伝えるのかなどの視点をもたせることで、計画の実現に向けてポイントを押さえた話合いができるようにする。 3 話し合いを基に、学習を振り返り、今後の探究の方向性について交流する。・今後の活動の見通し・話合いの視点 ア 次の時間は、自分たちにもできる取組をレポートにまとめていくよなから、そうすることで、話合いの視点を価値付けたり、今後の活動の見通しがもり、今後の活動の見通しがもことができるようにす。 ・今後の活動の見通しからの物な ウ 次の時間の見通しがもことができるようにすることができるようにする。ことができるようにする。ことができるようにす	者へ広げていくためにど	で育てた花の苗をマルシ	ついて問う。そうするこ	
・伝えたい思いや願い G'sの取組みをレポートにまとめて一緒に配ったらいろんな取組みが紹介できると思うよウ 火曜マルシェについて調べないといけないねエ 何を伝えたいのかをはっきりさせないといけないね。お話合いのでできると思うよからいね。 ・「どんなことを」「誰に」「どのように」「いつ」伝えるのかなどの視点をもたせることで、計画の実現に向けてポイントを押さえた話合いができるようにする。 3 話し合いを基に、学習を振り返り、今後の探究の方向性について交流する。・今後の活動の見通し・話合いの視点 ア 次の時間は、自分たちにもできる取組をレポートにまとめていくよなかにまとめていくよなかにはどんな人たちがいるのかなり、今後の活動の見通しがもり、今後の活動の見通しをもったりすることができるようにす。 ・ 今後の活動の見通しかもの視点を価値ではどんな人たちがいもいけないないはどんな人たちがいるのかなった。ことができるようにす。 ことができるようにすることができるようにす。	んな活動をしていくのか	ェで配ったらどうかな	とで活動の目的を明確	
・地域とのつながり にまとめて一緒に配ったらいろんな取組みが紹介できると思うより 火曜マルシェについて調べないといけないねエー何を伝えたいのかをはっきりさせないといけないねといけないねといけないねといけないねといけないねとができるようにする。 ・「どんなことを」「誰に」「どのように」「いつ」伝えるのかなどの視点をもたせることで、計画の実現に向けてポイントを押さえた話合いができるようにする。 3 話し合いを基に、学習を振り返り、今後の探究の方向性について交流するか方向性について交流するから情性について交流するから情性について交流するの方向性について交流するの方向性について交流するの方向性について交流するのかなり次の時間の見通しがもことができるようにする。 6 大く優の活動の見通しであるのかなり次の時間の見通しがもことができるようにする。ことができるようにする。	を話し合う	イ 自分たちで調べたSD	にし、話合いに生かした	
・話合いの視点 らいろんな取組みが紹介できると思うより、機電マルシェについて調べないといけないね工何を伝えたいのかをはっきりさせないといけないなり、きりさせないといけないなり、なるのかなどの視点をもたせることで、計画の実現に向けてポイントを押さえた話合いができるようにする。 3 話し合いを基に、学習を振り返り、今後の探究の方向性について交流する。 ア 次の時間は、自分たちにもできる取組をレポートにまとめていくよるの方向性について交流する。 ・ 話合いの質や決まったことを振り返る場を設定する。そうすることで、話合いの視点を価値付けたり、今後の活動の見通したいな人たちがいるのかなり、今後の活動の見通しをもったりすることができるようにする。	・伝えたい思いや願い	G'sの取組みをレポート	り、振り返りの視点とし	
できると思うよ ウ 火曜マルシェについて 調べないといけないね エ 何を伝えたいのかをは えるのかなどの視点を もたせることで、計画の 実現に向けてポイント を押さえた話合いがで きるようにする。 35 3 話し合いを基に、学習 を振り返り、今後の探究 の方向性について交流する にまとめていくよ てまとめていくよ で、話合いの視点を価値 んにはどんな人たちがい るのかな ウ 次の時間の見通しがも ことができるようにす 見通しをもったりする ことができるようにす	・地域とのつながり	にまとめて一緒に配った	たりすることができる	
ウ 火曜マルシェについて 調べないといけないね エ 何を伝えたいのかをは っきりさせないといけな いね いね いね 実現に向けてポイントを押さえた話合いができるようにする。 ・ 話合いの質や決まった ことを振り返る場を設定する。そうすること で、話合いの視点を値値 付けたり、今後の活動の見通し・話合いの視点 ・ 今後の活動の見通し ・話合いの視点 ・ のかな りまると で、話合いの視点を価値 付けたり、今後の活動の見通しがも ことができるようにす	・話合いの視点	らいろんな取組みが紹介	ようにする。	
調べないといけないね 「どのように」「いつ」伝えるのかなどの視点をえるのかなどの視点をもたせることで、計画の実現に向けてポイントを押さえた話合いができるようにする。 3 話し合いを基に、学習を振り返り、今後の探究の方向性について交流する。 ア 次の時間は、自分たちにもできる取組をレポートにまとめていくよいまとめていくよいはまとめていくよいはよる人たちがいるのかなり、今後の活動の見通したいるのかなり、今後の活動の見通しがもにはどんな人たちがいるのかなり、今後の活動の見通しがもによいできるようにすりまることができるようにする。ことができるようにすることができるようにす。		できると思うよ		
エ 何を伝えたいのかをはっきりさせないといけないねいねいねいねいねいないはないといけないないなどの視点を担ことで、計画の実現に向けてポイントを押さえた話合いができるようにする。 3 3 話し合いを基に、学習を振り返り、今後の探究の方向性について交流するがにまとめていくよいないではない。 ・ 話合いの質や決まったできる取組をレポートにまとめていくよいはとめていくよいないである。そうすることで、話合いの視点を価値を対けたり、今後の活動の見通しをもったりするのかなり、 6 ・今後の活動の見通しい話合いの視点を価値をあるのかなりの視点を価値をあるのかなりである。 ・ ことができるようにするようにするようにする。		ウ 火曜マルシェについて	「どんなことを」「誰に」	
つきりさせないといけないね もたせることで、計画の実現に向けてポイントを押さえた話合いができるようにする。 3 話し合いを基に、学習を振り返り、今後の探究の方向性について交流する。 ア 次の時間は、自分たちにもできる取組をレポートにまとめていくよいはまとめていくよいはまとめていくよいはまとめていくよいでいる。そうすることで、話合いの視点を価値がけたり、今後の活動の見通しがもないなり、の時間の見通しがもにはどんな人たちがいるのかなりである。		調べないといけないね	「どのように」「いつ」伝	
いね実現に向けてポイント を押さえた話合いができるようにする。実現に向けてポイント を押さえた話合いができるようにする。3 話し合いを基に、学習を振り返り、今後の探究を振り返り、今後の探究の方向性について交流する。・ 話合いの質や決まったといきる取組をレポートにまとめていくよいできる。そうすることで、話合いの視点を価値によいで、話合いの視点を価値によいで、話合いの視点を価値によいで、話合いの視点を価値によいではどんな人たちがいるのかなりで、・今後の活動の見通したもったりするで、・ 次の時間の見通しがもによいできるようにするようにするようにするようにするようにする。		エ 何を伝えたいのかをは	えるのかなどの視点を	
を押さえた話合いができるようにする。 35 3 話し合いを基に、学習を振り返り、今後の探究を振り返り、今後の探究を表している。 1 1 1 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3		っきりさせないといけな	もたせることで、計画の	
きるようにする。 35 3 話し合いを基に、学習 ア 次の時間は、自分たちに を振り返り、今後の探究 もできる取組をレポート ことを振り返る場を設 定する。そうすること で、話合いの視点を価値 んにはどんな人たちがい 付けたり、今後の活動の 見通しをもったりする ウ 次の時間の見通しがも ことができるようにす		いね	実現に向けてポイント	
3 話し合いを基に、学習 ア 次の時間は、自分たちに を振り返り、今後の探究 の方向性について交流する もできる取組をレポート ことを振り返る場を設定する。そうすること で、話合いの視点を価値 んにはどんな人たちがい 付けたり、今後の活動の見通し るのかな 見通しをもったりする ウ 次の時間の見通しがも ことができるようにす			を押さえた話合いがで	
を振り返り、今後の探究 もできる取組をレポート ことを振り返る場を設			きるようにする。	35
の方向性について交流す にまとめていくよ 定する。そうすること で、話合いの視点を価値 ・今後の活動の見通し んにはどんな人たちがい るのかな 見通しをもったりする ウ 次の時間の見通しがも ことができるようにす	3 話し合いを基に、学習	ア次の時間は、自分たちに	話合いの質や決まった	
る イ 火曜マルシェのお客さ で、話合いの視点を価値 ら一く後の活動の見通し んにはどんな人たちがい 付けたり、今後の活動の 見通しをもったりする ウ 次の時間の見通しがも ことができるようにす	を振り返り、今後の探究	もできる取組をレポート	ことを振り返る場を設	
・今後の活動の見通しんにはどんな人たちがい るのかな付けたり、今後の活動の 見通しをもったりする ことができるようにす	の方向性について交流す	にまとめていくよ	定する。そうすること	
・話合いの視点 るのかな 見通しをもったりする ウ 次の時間の見通しがも ことができるようにす	る	イ 火曜マルシェのお客さ	で、話合いの視点を価値	
ウ 次の時間の見通しがも ことができるようにす	・今後の活動の見通し	んにはどんな人たちがい	付けたり、今後の活動の	
	・話合いの視点	るのかな	見通しをもったりする	
てたよ る。 45		ウ 次の時間の見通しがも	ことができるようにす	
		てたよ	る。	45

(4) 評価規準と方法

これまでの実践を基にSDG'sの取組を地域に広げていくための方法を話し合う活動を通して、活動の意義や目的について考え、より具体的な計画を立てることができているか、授業中の発言やワークシートの記述からみとる。